

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：長野市在住の方)

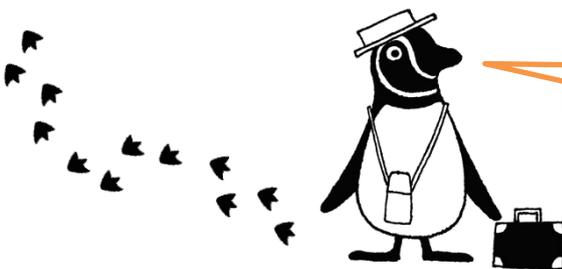
▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、仲間と家族がすむ自分の池が大好きでした。楽しい仲間と大好きな家族に囲まれて毎日元気に暮らしていました。ある日、すずめのチュンキチくんから、ここよりもっと大きくてステキな池があることを聞きます。チョウチョのバタ子さんが案内してくれることになりました。「1回だけなら～！お魚もたくさんいるかな」と思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

「海は広いな♪大きいな♪」トットちゃんは間違えて海へ行ってしまいました。カモのお姉さんもスイスイ、コイのおじさんもスイスイ、カメのおじいちゃんもスイスイ、みんなで楽しくスイミング。お魚だってたくさんいます。見るもの、聞くものが楽しくて面白くて、1回が2回、2回が3回に、トットちゃんの秘密の冒険は続きました。そんなある日、トットちゃんは竜の神様に会いました。「トットや、ここは私のすむ池だよ。ここは私が守る！トットは仲間と一緒に楽しく元気に暮らすのだよ。」竜の神様は静かに話しました。海だと思って泳いでいたのは大きな大きな池だったのです。ステキな冒険をしたトットちゃんは、今、仲間と一緒に楽しく元気に暮らしています。なぜか、雨が降ると竜の神様を思い出しながら。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：松本市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

トットは4ひき兄弟の末っ子ペンギンです。上の兄さんたちは飼育員からもらう食べ物をすばやく食べてしましますが、体が小さく動きが遅いトットはなかなか食料にありつきません。芸を覚えるのも兄さんたちにはかないませんが、そんな毎日にトットは悲しくなり「ボクなんてこの動物園には必要ないんだ」「仲間が住んでいる南米のフンボルト海流が流れているペルー沿岸に帰ろう」とある夜脱走を試みました。大きな体のペンギンには無理な隙間も体が小さなトットに幸いして、運良く脱出することが出来ました。しばらく歩くと大きな水溜りがありました。「海だ」と思ったのですが、そこは臥竜公園の竜ヶ池でした。トットはそこでマガモの親子に出会いそのお母さんにペルーに行くにはどの方向に歩いていけばいいか聞きました。

マガモのお母さんは答えました。「私らはシベリアから来ているから南半球のことは知らないけど、春先ツバメ君と話をしたとき南半球というのは赤道を越えてさらにペルーは日本の反対側だそうだよ。何でも南十字星が見えるところだよ」と教えてくれました。竜ヶ池からはオリオン座の三ツ星が輝きを放っていましたが、地平線を見ても南十字星は見ることは出来ませんでした。マガモのお母さんは続けて言いました。「小さなペンギンくん。

君は鳥かい。鳥にしては翼が小さいね。歩くしか出来ないんだね。かわいそうに。南半球まで歩いていくななんて不可能じゃないかな」そうかボクは鳥なのに他の鳥さんのように大空を飛べないんだ。足で歩くしかないんだと南に向かって歩き始めたとき飼育員のおじさんがボクを見つけて再び動物園に連れ戻されてしまいました。それでもトットはあきらめませんでした。

2度3度と脱走し、ペルー沖を目指しましたが、3度目の脱走を試みたとき竜ヶ池にすむ竜が現れ「トット。お前は何で南米を目指しているんだ。お前は小さいというだけで自分をだめだと思っていないか。兄さんの様になろうと努力したのか」と忠告されました。そこでトットは思いました。そうか、「ボクは今の環境に不満ばかり言って自分が努力していないのだ」と。

それからはトットは須坂動物園の一番の人気者になろうと努力するようになり、必死で訓練に励んでいます。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：佐久市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

須坂市動物園には、毎日たくさんのお客さんがやってきます。トットちゃんは、お客さんたちが須坂市の素敵な美術館や大きな滝、おいしい「みそすき丼」の話をしているのを聞いて、自分も須坂市を歩いてみたいと願うようになりました。でも、ペンギンのままでは外には出られない……。そんなトットちゃんの思いをしった動物の神様が、一日だけトットちゃんを人間にしてくれました。こうして、トットちゃんは動物園から逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

人間に変身したトットちゃん。何と神様はトットちゃんにお財布を持たせてくれていました。蔵のまち信州須坂かんこうガイドのみなさんの後をついて、須坂の街の魅力やおいしいものをたくさん味わいました。とっても素敵な思い出を胸に、須坂市動物園に帰ってきました。ペンギンの姿にもどったトットちゃん。無事、飼育員さんに見つけてもらえました。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、好奇心がとっても強く、個性が強く、周りと一緒に行動が苦手でした。でもとっても素直で、やりたいと思ったら即行動。特別な気持ちを持ったわけではなく、単純に外の世界を見たいという好奇心から外に出たいなと思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

ペンギンの世界しか知らなかったけれど、色々な動物が生きていることを知りました。小さな池しか知らなかったけれど、竜ヶ池の大きさにびっくり。そこに住んでいるこいや野生の鳥、散歩している人間全てが新鮮でした。それぞれその環境の中で精一杯生きていることに感動しました。そして、自分は自分の環境の中で一生懸命生きようと思いました。でも自由なトットちゃんは、やっぱり外を見たくなると脱走してしまいます。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：長野市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、もっと大きな池と、自由に遊び、いろんな友達が欲しいと思うようになっていました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

## フンボルトペンギン“とっと”ちゃん物語

①まだ、産毛も抜けきれない、小さなフンボルトペンギンが 6 羽(4 羽)で山懐に抱かれた動物園にやってきた。

それは、暑い夏の午後であった。

このペンギン達の家は、真新しい平屋の家と、プールが備えられていた。

毎日、決まった時間の食事の魚が、飼育員さんから与えられて、何の不自由もなく暮らしていたが、日が経ち、大きくなるにつれて、一羽のペンギンはもっと大きな池と、自由に遊び、いろんな友達が欲しいと思うようになっていった。

②ある夜、眠れないので外で星を眺めていた。

夜空を音も無く飛んで、二山東の屋根の朴の木の“ねぐら”から“東山の爺さん”と呼ばれている、“ふくろう”が動物園にやってきた。

「何をしているのかのう…」爺さんは、ペンギンの雛に話しかけた。

「眠れないので、もっと楽しい所に行ってみたいと思っていたんだ。」ペンギンはそう答えた。

「それなら、この爺が連れて行ってあげる。」

③「丁度その囲いの繋ぎ目が、あなたなら通れる位の隙間があるじゃろ。そこをくぐって外に出られる。そうそうゆっくり出たおいで。」

爺さんの先導で、ペンギンは坂道をぺたぺたと足音をさせながら、下っていきました。

④間もなく、赤い橋が架かった袂に到着した。

「ふうー、遠いなー。初めてこんなに歩いたので、疲れてしまったよ。」ペンギンは爺さんに愚痴をいった。

「もう、目的地に着いたよ。ここが話をした大きな池さ。存分に泳ぐ事が出来るぞー。せいぜい楽しむんじゃぞ。」東山の爺さんはそう言って山に帰っていった。

⑤ペンギンは、赤い橋の脇から、そろそろと坂を下り、池に入って行きました。

「わー!!脚がつかないよ。」これまで棲んでいた池よりはるかに深い池に、ペンギンは驚き、水底まで潜ってしまった。

それから、東の空が群青(青色)に染まるまで、大きな池の中を自由に泳ぎまわりました。

⑥池の真中辺りまで泳いだ時、ペンギンの脚に何か触れました。

「なんだろう。」

⑦ペンギンは少し潜って見ると、見慣れない大きな魚が周りを囲んで泳いで。くるくるとすばしこく泳ぎ回る魚に、

ついていくことが出来ません。

「もっと、ゆっくり泳いでよー。」ペンギンは魚に頼みました。

魚たちは、ペンギンの周りに集まってきました。

「珍しい、魚だなー。名前は何というの？」一番大きな魚が話しかけました。

「フンボルトペンギンというんだ。この上に 2 年前に越してきたんだ。東山の爺さんが、もっと大きな池があるというので、つれてきてもらったのさ。」ペンギンは今までの出来事を魚たちに話しました。

暫く、魚たちと遊んだ後、魚たちは深い所で眠るといって、潜っていきました。

⑧少し疲れたペンギンは、桜の木下の水面で眠ってしまった。

「なんか、大きくて変な魚？鳥？が水に浮いているよ。」

「本当だ、一体なんだろう？」

「昨日までは、居なかったのに、どうしたんだろう？」

雀たちは興味津々で大きな声で話しています。

「そういえば、上の動物園にいた、ペンギンに似ている。」

早起きの雀たちは、ペンギンの眠っている上に貼り出した桜の枝に集まり、おしゃべりの真っ最中。

「うーん、うるさいなー。」ペンギンは目を覚まして上を見ると、七羽の雀がいっせいにペンギンを覗き込んだ。

「なんだよー、ねむれないじゃないか。」少し不機嫌のペンギンは、雀に文句をいいました。

「動物園にいるペンギンが、どうしてこの池にいるの？」一羽の雀が、尋ねました。

魚たちに話した事を、雀たちにも話しました。

一方、動物園では、フンボルトペンギンが一羽いなくなった事に飼育員さんが気付く、動物園中を捜していた。

「あっ！動物園の飼育係の人達が大勢でやってくる。」

「早く、逃げなさい。」雀たちは、口々に叫びながら、飛び去っていきました。

⑨大きな網を持った飼育員さん達が大勢で、竜ヶ池に集まってきました。

ペンギンは西へ行ったり、東へ行ったりして逃げ回りました。

飼育員さん達は、何艘もボートに乗って追いかけていきます。

とうとう、ペンギンは捕まってしまうました。

⑩動物園では、ペンギンの逃げた隙間を板で頑丈に塞いでしまいました。

ペンギンはもう二度と大きな池に行くことが出来ないのでガッカリしています。

仲間のペンギンは、全く興味が無いのか、何も聞きませんでした。

⑪夜になって、星が輝き、動物園の動物が皆んな眠る頃

「おう、おう、捕まってしまったか、この爺が、又、新しい出口を捜したぞ。もう一度、でかけてみたいか？」

東山の爺さんが又やってきて話しかけました。

「うん、もう一度行ってみたい。」ペンギンは答えました。

「今から、木の棒を2本そこに落とすぞ。それを伝って柵を越えるのじゃ。」

東山の爺さんは、脚に挟んでいた棒を、飼育員さんが作った 30cm 位の塀に立てかけた。

ペンギンはその棒を伝い木の塀を越えました。

⑫「やっぱり、この池の方が大きくて気持ちいい」ペンギンは再び大きな池に来て幸せでした。

ペンギンは、池の中を好きなように泳ぎ、時々岸辺で休みました。

その時です、ペンギンの頭の上を何か飛んでいくような感じがしました。

「危ない、早く水の中に入るのじゃ。」東山の爺さんが、大きな声で怒鳴りました。

ペンギンは訳も判らず、水の中にザブンと飛び込みました。

「危なかったなー。もう少しで狐に捕まるところじゃった。よかった。よかった。」

「気をつけて遊ぶのじゃぞ。」東山の爺さんはそう言って山に帰っていきました。

狐は池の周りをズート周り、ペンギンが岸に近づくのを、待っていましたが、やがて、諦めたのかいなくなりました。

⑬朝になると動物園では、大騒ぎ。

「又、ペンギンがいなくなった。」飼育員さんは、真っ先に池に向かいました。

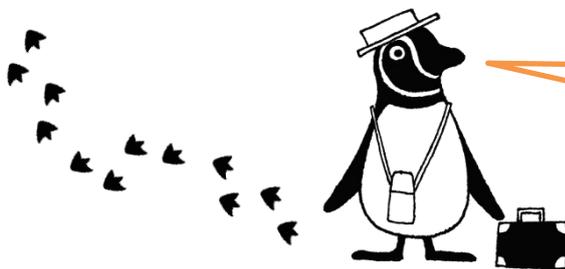
「やはり、又、この池に来ていた。」

ペンギンは、そして捕まり、又、動物園に帰ってきました。

「大きな池もたのしかったが、やっぱり、ここが一番安全。」ペンギンは独り言を言いながら眠ってしまいました。

⑭その後、動物園では、このフンボルトペンギンの名前を募集し、とっとと逃げてしまうので、「とっとちゃん」と名前がつけられました。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：東京都在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、毎日やってくるオウムに、白鳥からの招待状をじまんげに見せられました。

「なんたって今夜は、この先の池で白鳥の王女さまの誕生日なのさっ。それはそれは夢のようなじかんさっ！」  
と言うとオウムはうれしそうに空へとんで行きました。しかし、オウムのポケットから招待状が落ちてしまい、トットちゃんの手の中へまいおりてきます。「やったー！ぼくにも招待状が来た！」トットちゃんは大よろこびで招待状をにぎりしめ、必死にさくをとびこえて池へむかいました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

月あかりにてらされた池には、たくさんの鳥たちがあつまっていました。

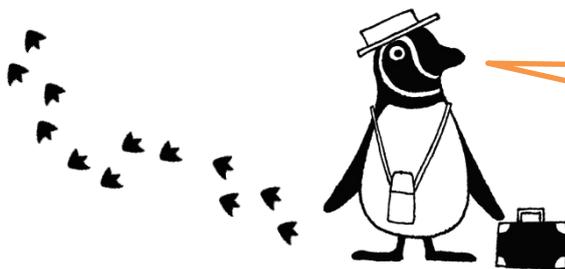
「あ！白鳥の王女さまだ！」トットちゃんはまっ白な羽の美しい白鳥にみとれてしまいます。

カモたちの水上ダンス、こいの群れがながれるように池を泳ぎ、小さな鳥たちの空の舞に、「うわぁ！すごいすごい！」トットちゃんは夢を見ているようです。しかし白鳥はなんだかとてもふきげんです。「いつも同じだわ…」トットちゃんは勇気をふりしぼり、いつもお母さんが歌ってくれる歌をうたいました。

♪夜空に星が流れ～人々はねむる～♪

トットちゃんは空もとべないし、泳ぎも一番へた、でも歌声はすばらしいものです。トットちゃんの歌にふきげんだった白鳥も……。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：中野市在住の中学1年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

カンガルーの「ハッチ」が空の星になってから、動物園の動物やお客さん、飼育員さん、みんながさびしそう。そこで「トット」はみんなが元気になれる「元気のもと」を探そうと思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

柵を飛び出した「トット」は、「逃げ出した」つもりはなく、「元気のもとを探しに出た」という思いがあった。「トット」は、草花や虫などの出会う物に聞いてみたけれど、だれも知らず、疲れて竜ヶ池で、泣きそうになっていた所で、空から「ハッチ」の声が聞こえ、「トット、動物園に戻りなさい。みんな心配してるよ。」それを聞いた「トット」は戻ってみると、みんな「良かった！」「戻ってきた！」とうれしそうでした。そして、トットは、元気のもととは自分が持っていたんだと知りました。だれでも、元気のもとを持っていると思います。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

ちっちゃな町の、ちっちゃな動物園に、ちょっと愉快的な動物たちが仲良く、暮らしていました。

ある夏の日、ちっちゃな動物園で、ちっちゃな池に、ちっちゃな赤ちゃんが、誕生しました。

お父さんとお母さんにそっくりで、手と足と頭と口と背中が黒色。首とまんまるお腹は白色。

三つ子の3番目に生まれたので、みんなより、ちょっと体は小さいの。

だけど、体を動かすことが、みんなより、はるかに上手。

右におととと～。左におとととと～。上にシュッシュッ。回転だって、クルッと回ってすてんころりん！なんてこともご愛嬌。あまりのやんちゃぶりなので、いつのまにか、みんなから「トット」と呼ばれました。

毎日、1・2・1・2・と歩いています。

ある日、「トット。おいでよ～」と、誰かが呼んでいます。

トットは、いてもたってもいられず、おりのちっちゃな、ちっちゃなトンネルを見つけ、誰もできない技で、見事にスルッと潜り抜け、誰かを探しに行きました。

「トット、早く！」また、よんでいます。トットは、声の方へ行くと、大きな池を見つけました。そこには、あひるさんたちが泳いでいました。

「トット、一緒に池で遊ぼうよ～」呼んでくれたのは、アヒルさんたちでした。

トットは嬉しくて、すぐに大きな池に、黒い頭から「ザポ～ン」と入り、スーパーフンボルト泳ぎを披露しました。

そして、あひるさんたちと、大きな池をグルグル泳ぎ、それから、お魚をとったり、ひとりでお昼寝もしました。

トットは、「この町の、この動物園は、良いところだな～」と、好きになりました。

トットは、また遊びたいな～と思いました。

そして、明日もトットの冒険が始まります。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の方)

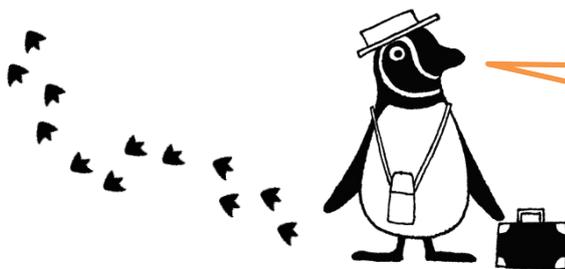
▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、囲いの中から出てみたかった、3歳児がお外へお外へとせがむのと同じ、毎日のジャンプのトレーニングに成功。努力が実をむすんだとはこのことだ。ちょっとお外を拝見しただけなのに。脱走なんて大き過ぎ。人聞きもわるいよ。囲いの中だけではストレス充満。外の世界を見たいと思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

胸のドキメキを覚えながら降りていくと、あっ海だ、広いな。赤い橋をくぐり、まず弁天さまの石段を上り弁天さんを押しおりにくると亀さんが石の上に上り、トットを歓迎して首を振ってくれた。ボートの子どもが「ペンギンだ、ペンギンだ！」と叫んでいた。トットは気分爽快すいー、すいー。だんご茶屋に人が吸い込むように入っていく。お腹が空いてきた、いい匂いがしてきたな、大きな鯉が寄って来てトットをつつく。変なものがきたという感じ。外遊気分も束の間、おっかけられ、とうとう網にかかり捕らわれの身となった。やめられない脱走。おかげさまでいいお名前ありがとう。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学5年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、もっともっと友達をつくりたいし、もし私がいなくなったら、みんなさびしくなるのかな？じゃあ、旅に出よう。と思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

トット、トットと歩くトットちゃん。最初に出会ったのは犬!!(こんな生き物もあるんだなあ。)  
「こんにちは、あなたはなんで動物園にいないの？もしかして私みたいに旅をしているの？」  
「そうじゃないよ。ぼくはもともとここで生まれた。旅ってことは動物園からにげだした？」  
「うん」「こまってるだろ、人間をよぼう。ワンワン。」  
そして動物園に帰った。最後はやっぱり動物園のお友達。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学1年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、もっとひろいせかいをみてみたい、うみでおよいでみたいと思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

うみをめざしてしゅっぱつ。とちゅう、どうぶつさんたちとおはなし、でんしゃにものったよ。

そして、ついにいけにとうちゃく。やったー！うみについたー！ひろいうみでおよげて、すごたのしい。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学2年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、まってね、みんな。えさをいっぱいとってくるね。いっぱいえさをとってこよう！と思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

いっぱいさかなをとってみせるぞー。たびってむずかしいなあ～。さかな、なかなかとれないなあ～

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学2年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、いろんなおさかながたべたいからだっそうしちゃう!!と**思って逃げ出しました。**

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

もっとたくさんの町やどうぶつえんが見てみたいな。しぜんはとてもきれいだな。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学2年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、にげろー、しいくんさんにつかまってしまうよー！もっとひろいところであそびたいんだ。と思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

あーあ、おなかすいたな。さかな、たべたいなー。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学2年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、いってきまーす。もどるから、しんばいしないでねー。と思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

やっぱり森はひろいな。しいくいんさんがまってるから早く行こう。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学2年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、ワーイ、さくから出れたぞ。いってくるね～。バイバーイ！と思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

よーし一人たびのはじまりだ～。思いっきり行こう。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学2年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、さくをこえたらたべものがいっぱいある。と思って、逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

一人旅はとてもたのしい。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学2年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、うみにさかなをとりにいこおっと!!思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

うみにいってさかなをとったよ。たこもとったよ。いっぱいとれてよかったよ。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学2年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、一人だけいちばんちいさいから、えさをとろうとしてもみんなにとられちゃう。だからとりにいってき  
ます。とって逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いが  
あったのでしょうか？

えさはがりゅういけにあるのかなー。ぼく一人だけさかなをいっぱい食べたいなー。おなかいっぱいになったらか  
えろうかな。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学2年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、みんなー、ちょっとぼうけんしてくるね。と逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

一人たびはたのしいなー。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

ペンギンはコンクリートの池で空を見上げていました。

父さんや母さんといった海はもっとつめたかったけれど、お腹の下に入れてもらおうと心まであったかくなれたよ。空もずっと広くて青くてどこまでも歩いて行けたよ。あれは夢だったのかしら。

季節はめぐり、夏のある日、柵の小さなすき間から出てみたよ。トットコリ、トットコリ動物園を抜け、坂の下の公園まで歩いたら、みどり色の池があって、鯉の爺さんや鴨さんとも遊んだの。

暑い日の水の中、スイー、ほら、ボクもおよげるんだ。

ワイワイ飼育員さん達は大騒ぎ。みつかった時は

「こんな汚い池では死んでしまう、ボク大切にされていたのかなぁ」

それから三回も出て、

脱走ペンギンと話題になったそうで、全国に報道され、入園数もふえた。

公募でついた名前が“トット”君。

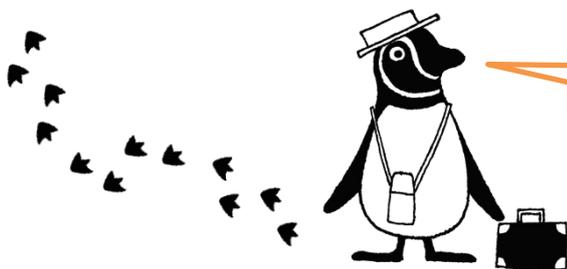
みんなのいる海の国へ行けるかなって思っただけさ。

さすがに柵は高くなり、もう何処へも行けません。

コンクリートの池でポチャポチャ。

ご飯もらって、ポチャポチャ。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学3年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、ほかのペンギンとけんかをして、やだなと思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

いろんなことをぼうけんをしていた。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、柵の外の世界を見てみたいと思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

フンボルトペンギンのトットちゃんは好奇心旺盛でいたずらっこ。

トットちゃんが生まれたペンギンプールからは、青く広い空が見え、たくさんの動物たちの楽しそうな鳴き声が聞こえてきます。

ある日、トットちゃんは、柵の前を優雅に歩き回っているにわとりのおばさんにきいてみました。

「ねえ、おばさん、この柵の向こう側は、楽しいところなの？」

「ああ、とっても楽しいよ。いつでも好きなところに行けるし、食べ物もたくさんあってお腹がすいてることもない。たまに人間に追いかけられることもあるけど、ちょっと羽をバタバタすると逃げて行ってしまうよ」

にわとりのおばさんはトットちゃん的好奇心をかきたてるように話をしました。

「いいなあ、ぼくもこの柵の外に行ってみみたいなあ」

それからトットちゃんは、にわとりのおばさんが柵の前を通る度に柵の外の楽しい話や色々な動物の話聞いては、外の世界を見たいという思いをつのらせていきました。

トットちゃんが、お兄ちゃんたちにその話をすると、お兄ちゃんたちは決まって、

「柵の外になんて出られるはずがない」

と、口をそろえていました。

そんなある日、チャンスが訪れたのです。

いつものように飼育員のおじさんが、閉園前の朝食の魚を入れたバケツを持って、ペンギンプールに向かって歩いてきました。

トットちゃんは、いつものようにおじさんのそばによって行き、お兄ちゃんたちのように餌をねだるまねをしていましたが、おじさんが柵を開けた瞬間、おじさんの横をすり抜けて、外へ飛び出しました。

それからあとは、おじさんに掴まらないように、飛べない両手をバタバタさせながら、全力をふりしぼって走りました。

ペンギンの隣には、カンガルーのおかあさんがいました。カンガルーはトットちゃんの姿を見つけると、声をかけました。

「まあ、あなたはトットちゃんね。にわとりのおばさんからきいているわ。柵の外にでられたのね。おめでとう」

「ありがとう。でも、ゆっくりしている暇はないんだ。とにかく遠くへ行かなくちゃ」

「がんばって」

カンガルーの赤ちゃんが、お母さんの袋の中から顔を出して言いました。

その声を後ろに聞きながら、トットちゃんは走りました。

ピーピー騒ぐインコたちの前を通って坂を下りると、ふくろうのおじいさんがちょうど目を覚ましたところでした。

「おや、きみはトットちゃんじゃないか」

ふくろうのおじいさんに声をかけられたトットちゃんは立ち止まりました。

「こんにちは、おじいさん」

「若い者はいいのう。夢があって。わしはもうここから出たいとも思わないよ。ここにいれば時間になると食べ物もらえるし、てきに襲われることもない。それに、いつも高いところから人間達を見下ろしているのもいいもんだ」

「ぼくは、柵の外の世界を見てみたかったんだ。にわとりのおばさんが、柵の外は自由で優雅でいつでも好きなところに行けるって教えてくれたんだ」

「食べ物はどうするんだい？」

ふくろうのおじいさんがききました。

「竜ヶ池っていうところに行くと、魚がたくさん泳いでいるってにわとりのおばさんからきいたから大丈夫さ」

「そうかい、それなら気を付けて行っておいで」

ふくろうのおじいさんは、にっこり笑っていました。

「ありがとう、おじいさん」

トットちゃんが階段を登って、どんどん行くと、そこには、トラの新婚夫婦がいました。

「おや、あれはペンギンじゃないか」

オスのトラがトットちゃんを見つけました。

「わたし、おなかがすいたわ」

もうじき赤ちゃんが生まれる、メスのトラが言いました。

「まかせとけ」

オスのトラはゆっくりと柵の近くに歩いて行きました。

「やあ、こんにちは」

オスのトラは、柵に近付いてきたトットちゃんに声をかけました。

「あなたはトラさんですね」

「ああ、きみはペンギンのトットちゃんだね。にわとりのおばさんからきいているよ。ねえ、もっと近くに来て、どうやって柵から出てきたのか教えてよ」

トラは猫なで声で優しく言いました。

「いいよ」

トットちゃんは得意顔でトラに近付いていきました。

トットちゃんが柵のすぐそばまできた時、トラの手がにゅっと伸びてきて、トットちゃんの胸の毛を鋭いつめでむしりとりました。

トットちゃんは急いで逃げていきました。

「ちえっ、もう少しだったのに」

オスのトラは、悔しそうに言いました。

「ああ、こわかった」

トットちゃんが走っていると、となりでは、カピバラの親子が、ちょうど温泉に入っているところでした。

「まあ、トットちゃん、一緒に温泉に入っていない？」

カピバラのおかあさんが声をかけました。

「温泉？」

トットちゃんは、温泉という言葉初めてききました。にわとりのおばさんからもきいた事はありませんでした。

トットちゃんは柵の隙間を通り抜けて、カピバラの入っている温泉に近付き、

「ぼくたちのプールよりは狭いんだね」

と言うと、いきなり温泉に飛び込みました。

パシャーン

「あちちちっ」

水だと思ったトットちゃんは、熱いお湯にびっくりぎょうてん。あわてて温泉から飛び出しました。

「おや、ペンギンには温泉は熱かったかい？」

カピバラのおかあさんは笑いながら言いました。

「ぼくは、水の中を泳ぐのが好きなんだ」

「そうかい、また、いつでもおいで」

「いや、もうこりこり、遠慮しとくよ」

トットちゃんはまた走り出しました。

そのころ、ペンギンにえさをやり終えた飼育員のおじさんは、ペンギンの数が一羽足りない事に気がつきました。

「おや、あのいらすらトットちゃんがないぞ」

おじさんは急いで事務所に行き、マイクのスイッチを入れて園内に放送しました。

「ペンギンのトットちゃんがプールから逃げ出しました。見つけた人は、捕まえて下さい」

それを聞いた飼育員の人達は、みんなでトットちゃんを探し回りました。

トットちゃんは走って走って、やっと池にたどり着いたところでした。

「ああ、もうお腹がぺこぺこだよ」

トットちゃんが池の中をのそくと、たくさんの鯉が優雅に泳いでいました。トットちゃんが池に入ろうとした時、

「ここはおれたちの池だぞ」

「ペンギンは勝手に入るな」

「そうだ、そうだ」

トットちゃんは、かもたちにつつかれて、あわてて逃げ出しました。

もう、お腹が空いて走るのもやっとでした。

その時、トットちゃんの頭の上から網が降ってきました。

「いたぞ、トットちゃんを見つけたぞ」

飼育員の人達がトットちゃんを取り囲みました。

そこへ、ペンギンの飼育員のおじさんが走ってきて、トットちゃんを優しく抱きかかえてくれました。

「こんなところまで来ていたのか。心配したんだぞ」

おじさんの目にはうっすらと涙がにじんでいました。

「おや、お腹の羽がむしられているじゃないか」

おじさんが、ていねいに傷がないかみてくれました。

「大丈夫、傷はないな」

そう言うと、おじさんはトットちゃんをペンギンプールに連れて行き、朝食の魚をプールに投げてくれました。

トットちゃんは急いでプールに飛び込むと、スイスイと泳ぎ回り、パクッと勢いよく魚を三匹も続けて飲み込みました。

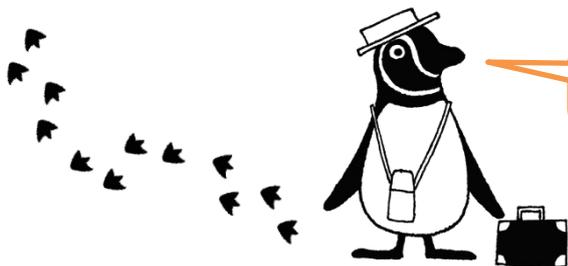
「よっぽどお腹が空いていたんだな」

飼育員のおじさんは、そう言うと、プールから上がってきたトットちゃんの頭を優しくなでてくれました。

トットちゃんは、やっぱりここがいちばんいい、と思いました。

それからトットちゃんは、得意顔で柵の外の大冒険の話をお兄ちゃんたちに話してきかせました。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：長野市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

「わぁー!! 広くて気持ちいいな。お友だちもいっぱいいる……。おもしろそうに泳いだり水浴びをしたり……。すごい!!」

トットちゃんは大きな池の中でひとりで大はしゃぎをしていると、向こうの方から仲良しのイクちゃんがトットちゃんを見つけて、近寄って来るように見えました。

トットちゃんは嬉しくて急いで泳ぎはじめましたが、なかなか前へ進めません。

疲れと悲しさで泣きだしたところでハッと目をさましたトットちゃんの間からは、大粒の涙がこぼれていました。

トットちゃんは夢を見ていたのです。

大粒の涙は、もう少しでイクちゃんと手をつなげそうになったのに、イクちゃんは黙って向こうへ行ってしまった悲しい涙だったのです。

トットちゃんのお家のまわりの草や木は赤や黄色に色づきはじめ、夏の暑さが少しだけ残る秋のはじめの午後のことでした。

トットちゃんは、まだ良く覚めきらない目をしばたいていると仲良しのイクちゃんが

「どうしたの？ 泣いたりして…」

と聞きました。

トットちゃんは夢のお話をしました。イクちゃんは不思議そうな顔をして、

「わたし、ずっとここにいたわよ。クスクスふふふ」

とおかしそうに笑いました。トットちゃんは、変だなあと思いながらも一緒に大笑いをしました。

さて、それからトットちゃんはイクちゃんやお友だちと仲良く遊んだり、飼育員のお兄さんからの大好物の小あじ等のおいしい食事を食べたりして楽しい毎日でしたが、時々夢のことが思い出され、イクちゃんとどうしてもあの大きな池へ行きたくなりました。

それから幾日位すぎたでしょうか。いつものようにつついたり、つつつかれたり、小さな池で水遊びや散歩をしたり……。と遊んでいると、なぜかお隣りの家へ入ってしまいました。でも、そこはお家ではなくどンドン歩いて行かれる広い広い公園だったのです。

トットちゃんは嬉しくなり、思うがままにどンドン歩きました。

どこへ行こうと思った訳ではなく、どこまでも行かれることが不思議と嬉しさで歩いたのでしょうか。トットちゃんはすっかり疲れ、お腹もすいていました。

その頃まわりはもう、うす暗くなり、空には薄黄色の三日月さまがやさしく輝いていました。トットちゃんはボンヤリお月様を眺めていましたが、ふと我に振り返り向こうの方に目をやると、空に輝いているはずのお月様が何かに浮かんでいるように、ゆらゆら揺れて見えたのです。

トットちゃんは小さなくくりした目を大きく開いてよく見ると、何とそれは夢にまで見た大きな池だったのです。

“もしかして、また夢？”

トットちゃんはほっぺをつねりました。

“イタタッ”

夢ではなかったのです。

もう嬉しくなったトットちゃんは、お腹のすいたことも疲れたこともすっかり忘れチョコチョコと……でも一生懸命池にうつるお月様を目がけて歩き出しました。そしてドボン。

イクちゃんいるかな……とちょっとトンチンカン。すでにたくさんの水鳥たちは、頭を羽の下にもぐらせ夜の眠りにつきはじめていました。

でもそこにはイクちゃんやお友だちは誰もいません。トットちゃんは何となく心細くなりました。

そして次の日、池の中で楽しく遊んでいると、

「あそこだ、あそこにいる…」

と聞いたことのある声にトットちゃんはドキッと心ぞうが止まる程びっくりしました。

飼育員のお兄さんたちがトットちゃんを探しに来たのです。

そしてあっさりとお家へ連れ戻されてしまいました。途中トットちゃんは、お兄さんたちに叱られると思い

“ゴメンナサイ…”

と心の中で何回もあやまりました。

トットちゃんの気持ちが通じたのか、お兄さんたちは叱ることもなく好物の小あじをいつもよりたくさんくれました。

そばでイクちゃんもニコニコしながらおいしそうに食べているトットちゃんを見守っていました。トットちゃんはお家での毎日の生活が嫌いではありません。

楽しいし、ご馳走も食べられる、そして自由に遊べる…。何の不満もない日々でしたが、トットちゃんには何といっても海ほど広い竜ヶ池のことが忘れられなかったのです。

ボートが浮かび、きれいな木の葉が湖面に静かに揺れ、又湖畔では飼育のお兄さんたちのような大人や子供たちが、おでんやおだんごをおいしそうに頬ばったりして楽しんでいる…。そんな賑やかな風景がトットちゃんには全く別世界でした。そんな世界にトットちゃんはいつしか憧れるようになりました。

そしてどうしたらあの広い池に行かれるのかナ……と思うようになりました。

ある日見つけました。トットちゃんがやっと出られる小さな穴を…。

トットちゃんは、お兄さんたちに悪いかナ……と思いながらも憧れのあの竜ヶ池をめざしてトットと歩きはじめました。

“お兄さんたち、ボクを探さないで…。少し遊んだら帰るから…”

トットちゃんは歩きながらそんなことを考えていました。

そして広い池でのびのび遊んでいる所をまたまたお兄さんたちに見つかり、あっさりお家へ連れ戻されてしまいました。

トットちゃんは残念でたまりませんでした。

“ボクが大きな池で遊ぶの、どうしていけないのかナ。何も悪いことしないのに…。人間の良い子たちはボクのことかわいい…とか、歩き方がこっけいだとか言って楽しんでくれているのにナ……”

そんなことを考えながら遊んでいたある日、またまた外へ出られる玄関口を見つけたトットちゃんは、

“行って来ます”

と心の中で言いながら竜ヶ池を目ざして歩き出しました。

三回目ともなれば馴れたものです。近道も覚え、すぐに池に着いてお兄さんたちが心配していることなどすっかり忘れて遊びたわむれました。しかしお兄さんたちに見つかるのも早いことは言うまでもなく、たちまちお家へ連れ戻されてしまいました。

帰る途中トットちゃんは考えました。

“ボクに空を飛べる羽根があったらいいのにナー。イクちゃんと手をつないで池よりも広く高い高い空を飛びたいナ…”

お家へ戻ったトットちゃんは、お兄さんたちに心の中であやまり、

“もう池へは行きません”

と約束しました。

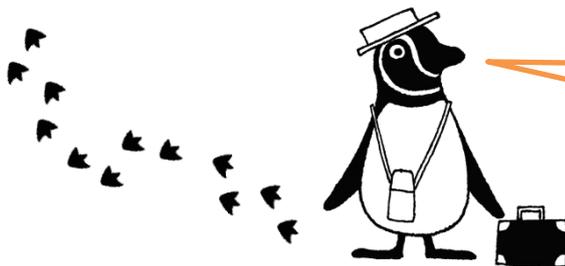
お家は狭いけれど、青い空も見える…、きれいな山だって見える、人間の良い子たちも遊びに来てくれる…、ご馳走もある…。

こんなお家がトットちゃんは大好きだったのです。ただ、玄関口があったので出ただけ…と、トットちゃんはずぶやきました。

公園や竜ヶ池のまわりの山々は、すっかり秋も深まり、木々の葉っぱは湖面を色良く彩りました。そして寒い冬はすぐそこまで来ていました。

間もなくまわり一面は真白い雪におおわれることでしょう。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：匿名希望)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

ペンギンのトット君は空を飛び大好きなお月さまに会いにいきたいという夢がありました。ある日トット君は大好きなお月さまが半分になっていたことにびっくり。もう半分のお月様をさがしにとうとう柵を越えてみました。とことこあと半分のお月様、なかなか見つかりません。しばらくいくとおおきなお池に半分のお月様がゆらゆらしています。思い切って飛び込んだトット君追いかけても追いかけても、半分のお月様だけ。まんまるお月様には会えません。くたびれて寝込んだトット君は探しにきてくれた飼育員さんにだかれて帰りました。だけどやっぱりおもいきりないトット君はまたまん丸お月さんを探す旅に挑戦。ある日あの池でまんまるお月さんを探すトット君はまるで空をとんでいるようでした。いつか、黄色の月見草をトット君はまん丸お月様にわたすことができるでしょうか。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、優しいお母さんのことが大好き。毎日、私が元気に大きくなれるように、お母さんは、ごはんを食べさせてくれました。しかし、ある日「今日からは、自分で食べなさい」って言われてしまいました。トットちゃんは、とても悲しくて、「もう、お母さんは私のことを嫌いになったんだ！もういいよ!!」と思って逃げ出しました。

※お母さんは、トットちゃんに自分のことは自分でできるようにと願い、ごはんを一人で食べなさいと言っていた

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

①桜の木と出会う…

トットちゃん)「一緒にあそぼう」

木の子ども)「ごめんね、今お母さんとうたをうたっているんだ」

②カルガモと出会う…

トットちゃん)「一緒にあそぼう」

カルガモの子ども)「ごめんね、今お母さんと池の中でお散歩してるんだ」

③人間の子どもと出会う…

トットちゃん)「一緒にあそぼう」

人間の子ども)「ごめんね、これからお母さんとお買い物に行くの」

みんなお母さんと一緒に居るところを見て、トットちゃんもお母さんに会いたくなりました。お母さんも、トットちゃんを心配してくれていたことを知り、やっぱりお母さんのそばにずっといようと思いました。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学6年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、さくの外にはどんな世界があるんだろう。どんな仲間がいるんだろう。と思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

さくをでると、いろいろな動物がいてびっくり！

世の中広いんだと思った。

その先には大きな池(がりゅう池)があった。そこでトットちゃんは池で友達(ナマズやコイ、カモ)をつくり、いっしょに泳いだ。飼育員さんにつかまって、月日がたった今もその事をわすれない。そして、まただっそうをできないかと考える。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学6年生)

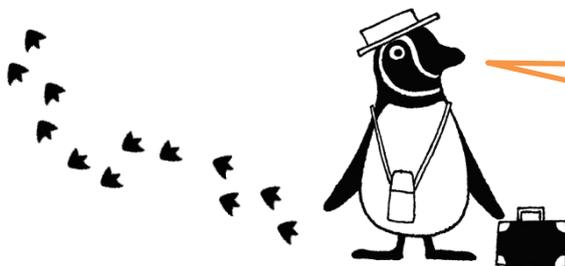
▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、あるひいつもよりも、たくさんおなかがすいていました。おなかとせなかがくつきそうです。トットちゃんは、「なんでもいいからなにかたべたい～どこに行ってもいいからゼツタイタペテヤル～」とあって逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

トットちゃんはだれにも見つからずに、にげだせる方法を考えて、ついに脱走に成功しました。そこで見たものは、自分の数倍もある人間や、それよりもさらに大きな木などがたくさんあって、そして、とてもいいおかげが！池からにおいます。トットちゃんはダッシュで池にむかいました。いきおいよくジャンプ！でもうまく着地できませんでした。その後、ある男の人が食べ物をおとしてしまい、それをたべたトットちゃんは元気をとりもどしました。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：中野市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、ダンスがだいすきなペンギン。はるかぜがピンクの花びらをはこんできました。ひらひらとおどるすがたにトットちゃんもウキウキしておどっていました。すると、さくらのむこうにオレンジいろのリボンをつけて、それはかわいくたのしそうにおどっているペンギンがいました。いっしょにおどりたい!!とあって逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

そのこは、ふわふわとじょうずにおどるので、(おしえて！)(あそぼう！)とトットはあとから、くびをのぼして、ふりながら、つまづきそうになりながらもついていきました。

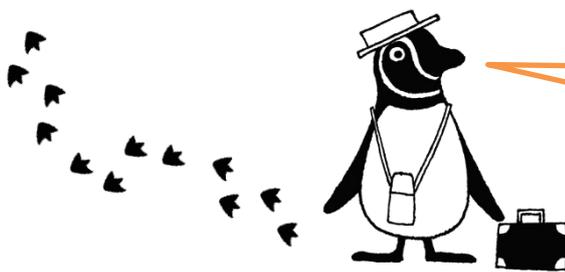
いつのまにか、さくらのトンネルをぬけておかあさんからきいていたりゅうのすむいけまできてしまいました。

“ママ、あったよ～”

の聲がしたときかわいいそのこは女の子と手をつないでかえってしまいました。トットはきゅうにさみしくなり池にはいっておかあさんをさがしました。カモやアヒルたちもきいてみました。

そらがあかねいろになり、ポロポロとなみだもおちてきました。くらくらってカラスもなきはじめたころ、さくらの花びらをいつばいつけたりゅうのこがあらわれて、かぞくのまつトットのいえまでトットをのせてつれてかえってくれました。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：糸魚川市在住の方)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、毎日毎日たくさん訪れる人間たちがどんな生活をしているのか知りたい、と思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

あるお家にたどりつき、人間の生活を少し体験。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学6年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは足がはやいのをじまんしたいと思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

ライオンキングをみて、サーカスのショーに出たこと。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の高校2年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、自分の心を強化するため逃げだした。他のペンギン達に負けないゾー!!  
強くなってやるー(・ω・)的な

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

◎トラに会う

→怖っ！ →話してみるとあんがい良い

→人は見た目だけじゃないんだな

強くなるだけじゃだめなんだ!!

やさしさだってひつようよ！と他の動物から教えてもらう。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学3年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんは、この水はつめたすぎて入のをやめてカピバラのおんせんに入りたい。と思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

一回にげたけど、しいいんさんに見つかって、もどされたけど、どうしてもカピバラのおんせんに入りたくて夜中にこっそりぬけだしてたぬきにたすけをもとめました。たぬきがトットちゃんにばけてトットちゃんは、やっとおんせんに入ることが出来ました。

カピバラはのんびりねてたのでトットちゃんには気づきませんでした、

おんせんはあつすぎて

「やっぱりプールの方がいいなあ」

と思って帰りました。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!

# 須坂市動物園 絵本アイデア

(応募者：須坂市在住の小学1年生)

▼トットちゃんは何を思って逃げ出したのでしょうか？

トットちゃんはあたらしいお友だちに会いたいと思って逃げ出しました。

▼トットちゃんは柵を飛び出して、何を見て、どんな冒険をしてきたのでしょうか。どんな思いがあったのでしょうか？

はじめて泳いだ大きい池できれいな星を見た。いろんな虫に会った。いろんな鳥にも会った。たくさんのあたらしいお友達に会えてうれしかった。

※原文の通り



楽しいアイデアを考えてくれてありがとう!!!